

第6回 江戸川総合人生大学祭 Report

7月30日、船堀タワーホールに於て開催された「江戸川総合人生大学祭」は今年で6回目を迎え、6期生と7期生及び卒業生が力を合わせ日頃の成果を展示ブースやステージで発表いたしました。一般ご来場者数は960名、大盛況・大興奮のもとで進行、後夜祭もワキアイアイ、大成功に終わりました！



司会進行とステージデザイン



子ども6期の「こぶとりじいさん」



北野学長の「エネルギーと環境問題」講義



同窓会島田会長あいさつ



谷口実行委員長の開会あいさつ



親子で手作りができる体験コーナー



介護7期の「歌って元気に若返ろう」



国際7期展示ブース



北野学長も熱心にブース見学

●第6回江戸川総合人生大学祭を終えて

大学祭実行委員長 谷口祝三

大学祭は、学生の自主的な呼びかけで始まり、今回で6回目を迎えました。ここで大学祭の開催意義を改めて振り返れば、

①2年間の学びの成果を発表し、人生大学で学ぶことの楽しさを示すこと

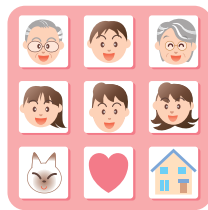
②大学祭にお迎えする地域の皆様に大学を知ってもらい、これから入学を希望される方に大学を知ってもらえる最大のイベントであること

③180名の学生が学科を超えて交流の機会を得ることができ、また同窓生との交流を通じて卒業後の地域貢献活動へのきっかけ作りとなること

——— などであります。

今年は、東日本大震災を受けて防災コーナーを設けました。学生は、在学中に大学祭を2度経験することで、大きく成長すると同時に学年を越えて数多くの貴重な友人を得ることになります。これは卒業後に地域貢献活動やボランティア活動を目指している私たちにとって何物にも勝る得難い経験となりました。皆様のご協力に心から感謝申し上げ、大学祭を終えてのご挨拶とさせていただきます。

同窓会の窓



同窓会も去る10月28日に第5回目の総会を開催しました。

昨年度は、同窓会主催の初のイベントとして「みと好文カレッジ・さきがけ塾」との交流会を6・7期生にも参加いただき実施しました。これは3.11東日本大震災で甚大な被害を受けられた塾生のみなさまから、災害時の行動やボランティア活動などについて貴重なお話をお伺いするという大変に意義のある交流会でした。また、今総会ではクラス幹事の半数の方が交代しましたが「江戸川総合人生大学の発展と同窓生の親睦を図る」という2つの目的に向かって引き続き努力していきたいと願っております。

在校生の皆さまと一層の交流の場を持ち、ともに人生大学の未来に向かって一步一步進もうではありませんか。

同窓会 前会長 島田久市

編集後記

平成23年度江戸川総合人生大学卒業式が、9月6日タワーホール船堀にて開催されました。6期生81名が、無事卒業式を迎えることが出来ました。北野学長よりひとりひとりに卒業証書が授与され、大変感動いたしました。今回の「ひと あい えどがわ」のテーマは「希望」です。希望を持って巣立っていく6期生、希望をいだいて進級する7期生を特集いたしました。いかがでしたでしょうか？皆さん「希望」を持って前に進みましょう。

副編集長 小林隆子

編集：「ひと あい えどがわ」編集委員

【6期生】川名信義、小林隆子（まち） 田代耕太郎、安武和子（国） 小谷勝彦、高津陽子（子） 伊久美明、川本幹子（介）

【7期生】井上眞、齋藤彰吾、林朋廣（まち） 寺本孝行、矢島芳男（国） 鹿野恵子、丸田抜子（子） 金谷佳善子、森田賢一（介）

ひと あい えどがわ

http://www.sougou-jinsei-daigaku.net/

No.18

発行日 / 2011.11.1
創刊日 / 2007.4.10



ウキウキ卒業旅立組 vs ワクワク2年次進級組

6期生と7期生とがそれぞれの希望や思いを語り合いました！



葛西臨海公園での休日（写真：まち7期 井上）

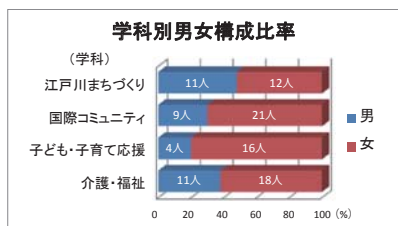
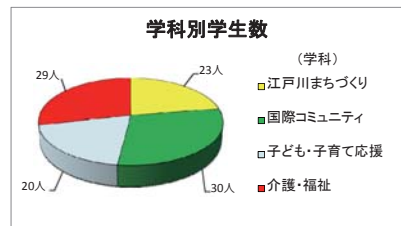
ドキドキ1年次入学組 8期

江戸川総合人生大学では第8期生を募集し、102名の方にご応募いただきました。

10月5日には篠崎文化プラザで入学式が行われ、新たな一歩を踏み出しました。おめでとうございます！新入生の内訳は、男性35名・女性67名で、平均年齢は63.6歳です。2年間の学びの中で、ともに成長し地域貢献を目指しましょう。



入学式にて北野学長より式辞



学科名を一部変更しました

第8期新入生より「子ども支援学科」を「子ども・子育て応援学科」に変更しました。「子ども」と「子育てをする方」を応援するというイメージを強めます。



ウキウキ卒業旅立組 6期 VS ワクワク2年次進級組 7期

学科毎に6期生と7期生の代表の方々に集まっていただき、現在の「希望や思い」を熱く語り合っていました。



江戸川まちづくり学科 【6期】稲垣憲三・野地次男・山口昭和【7期】斎藤彰吾・手塚貞雄【司会】井上眞（於：葛西海浜公園なぎさ）

自主的な活動から(6期)、仲間との絆から(7期)、希望が見えた！

【6期生から2年間を振り返っての感想や大学への思いは？】

●私達は間もなく卒業しますが、振り返ってみますと1年次は学科の授業の他に必修科目や選択科目の履修があり、忙しい1年でした。2年次は卒業研究が主でした。それぞれのグループに所属し、現場調査や情報収集、さらに実践により仲間の輪が大きく広がったのは、成果の一つだと思っています。大学の設立の趣旨が、地域貢献を志す人々を応援するものであることからカリキュラムもそのように作成されており、2年間の授業や調査・研究を通じて各自のめざす目標に向け、自主的な活動を自然に導いてもらえるように感じました。

7期生へのアドバイスとしては、1年次でのグループ研究に全力投球するあまり、2年次にもそのモチベーションを維持することが難しいということがあります。2年次には研究テーマを変えるのも一つの方法だと思います。



【7期生は1年を振り返っていかがですか？】

●江戸川区のことをもっと知りたくて入学しましたが、1年間の授業や「江戸川の種がし」によって地域のことをよく知ることができました。またグループ研究を通じていろいろな経歴を持つ仲間とも絆ができたしへん充実した1年でした。

【今後の活動や抱負は？】

●6期：卒業イコールゴールではなく、ある意味新しい旅立ちであるので、2年間の知識、経験を活かしてまちづくりに関わりのあるボランティア団体等に所属し、それらの活動を通して地域に貢献していきたいと考えています。

●7期：2年次には40時間の社会貢献の単位取得があるとか。仲間とともにNPO等に所属し、楽しんで活動しようと。卒業研究は1年次に培った成果をもとに、全力で取り組みたいと思います。仲間づくりについても大きくその輪を広げていくつもりです。



国際コミュニティ学科 【6期】内山好子・大島修三・洲崎理恵子【7期】川戸修・竹澤亀次郎【司会】寺本孝行（於：巡の家）

グローバル※な市民社会へ(6期)、諸団体とのコラボを目指す!(7期)

※「グローバル」とは、グローバルとローカルを合わせた言葉で、地球規模の視野で考え、地域視点で行動する(Think globally, act locally) 意味

【大学への思いについて】

●6期：入学の動機は、より多くの人との出会いを求めて、更に地域を知り、そして社会に貢献したいとの思いがありました。1年、2年の授業内容は総じて江戸川を歴史的、組織的、人的に知ることが出来て良かったと思います。ボランティア活動を行う上においてのスキル、例えば、日本語指導方法のような実践的な授業が多くなると良いと思います。

●7期：何か社会に貢献できないかという思いで入学しました。当初は、授業内容に戸惑いがありました。



【2年次への期待や希望】

●大学祭を経て、活動の実態が垣間見えて来ましたので、充実した1年間にしたいと願っています。

【卒業後の活動への思いや希望】

●既に同窓生の方々が多くの活動団体を立ち上げておられます。

私達が立ち上げた「国際コミュニティサロン」は、在住外国人の方との交流を通じて相談、手助け、懇親を図ることを目的としています。現在は、南小岩で様々な地域活動を行っている「巡の家」をお借りして活動しています。

【質問・アドバイス】

●7期：どうもクラスの連帯感が希薄だと感じています。大学祭の活動を通じて少し改善されてはきましたが、どう思われますか。

●6期：6期は午前中の授業であったため、昼食を共にするなど授業後も一緒に活動する機会がありました。7期の場合は、午後4時に授業が終わり、それからの時間に余裕がないことが一因だと思われます。出来るだけ早く、全体で活動することを見つけると良いでしょう。

●7期：2年次、40時間の社会活動体験をこなせるのか不安なのですが、実態はどのようでしたか。

●6期：いろいろな形態はありますが、何とかありますよ。先輩方の団体を訪問し、協力をしながら教えて頂くのも有効です。頑張ってください。そして共に目的に向かって進んで行きましょう。

ボランティアセンターより 使用済み切手の収集について

身近で手軽にできるボランティア活動で、使用済み切手の収集があります。収集された使用済み切手は、国際協力や障がい者支援を行っている団体に届け、それぞれの活動に役立てられます。なお、使用済みカードの収集は本年3月31日をもって終了しております。

収集方法
・消印を切らないで、図のように台紙ごと切手のまわりを切り取ってください。(郵便局名や日付のある消印も収集家の対象になっています)
・身近な区民施設にある収集箱へ。
・ボランティアセンターを通じて、国際協力や障がい者支援を行っている団体にお届けします。

切手整理のボランティア：収集された切手の整理をお手伝いいただけるボランティアさんも募集しています。ボランティアセンターまでお問い合わせください。(電話：5662-7671 FAX：3653-0740)



子ども支援学科 【6期】小谷勝彦・高津陽子・肥前美紀【7期】岡戸紀子・幅口磯夫【司会】鹿野恵子・丸田抜き（於：幅口邸）

愛する子どもたちのために!(6期)、新しく踏み出す一歩!(7期)

【大学への希望や振り返り】

●6期：ボランティア活動が思い出に残っています。特に、スクールサポーターでは大変さよりも楽しさを感じて、ボランティアへの意欲が高まりました。大学祭では防災コーナーを担当しましたが、防災は全ての学科に共通するテーマなので大学祭だけではなく今後も継続していったほしいと思います。

●6期：これまでの活動を通して、「人間って本当に変わるんだな」と実感しました。入学動機は様々でしたが、学び合って行くうちに自分だけのことでなく地域社会への貢献を考え実践を始めた仲間が多いです。そこに《希望》を感じました。

●6期：その変わった張本人が私ですね(笑)。私は、大学での学びや皆さんとの出会いで視野が広まり、見方が180度変わりました。

●7期：私も「自分は変わるのかな？」と不安でした。大学祭でクラス全員が心をつなぐ協力できたことで、今ではインディアンスクールの支援活動を続けながら、他学科の友と新しい分野のボランティア企画に希望がわきました。

●7期：特にフィールドワークがとても有意義だったと感じました。今回のように6期生の方と一緒に活動して、その姿を学べたかったと感じました。



【1年次を終えて】

●7期：2年次での40時間の社会活動体験、課題レポートの書き方など、不安な点もあります。

●6期：大丈夫、何とかありますよ。

【卒業後の活動・課題など】

●「スクールサポーターゆうほ」の活動は継続しつつ、同窓会、子ども6期の立ち上げた会「ころくかい」での活動や交流を続けていきたいと思っています。

●すすくスクールと連携をとりながら、障がいのある子の放課後・余暇のサポートをして行きたいと思っています。他には、「シアターアップルズ」の立ち上げに参加して「絵本作り」や“パネルシアター”などにも取り組みたいです。

介護・福祉学科 【6期】伊藤武・川本幹子・田口啓子【7期】金子良子・武藤孝【司会】伊久美明・森田賢一（於：葛西臨海公園内）

活動することで自信(6期)、仲間と活動で前進(7期)、夢をつかもう

【大学への思いについて】

●6期：特別養護老人ホームなどを含めた介護・福祉に関する勉強をしたかった。



●7期：今後、地域で活動したいので、介護保険制度などについて勉強したいと思います。

●6期：家庭の都合により、授業を欠席する事が多かったので、残念な思いをしました。しかし、素晴らしい仲間と出会えたのがよかった。

【卒業後の活動について】

●2年目の授業でグループワークなどの共同作業を通じて培った信頼関係を今後の活動に生かしていきたい。

●ボートのコーチを続けながら、将来的には浦安のディサービスセンター「夢のみずうみ村」でボランティアを考えています。

●6期生で立ち上げたコーラスグループで活動したいと思っています。

【2年次への思いについて】

●今後の授業の社会活動体験を町会活動に生かしたいです。

●各種介護施設の見学を増やし、介護の現状の把握に努めたいです。
●授業を生かし、ひとり暮らしの方の見守りなどの活動を地域の方々と行いたいです。

【7期生への社会活動体験のアドバイス】

●自分が経験してみたい介護施設また、興味を持っている介護施設に自分で調査する事、卒業生が現在活動している状況を調査してみるなどで活動先を探してください。

【学んだ事について】

●7期：認知症について、基本的なことを学び、理解でき、その意識が変わりました。

●7期：介護保険制度及び各種介護施設の概要について、勉強する事ができ、よく理解できました。

●6期：選択科目のうち、「地球環境を考える身近な活動」の中で現地（葛西臨海公園、親水公園など）を見て、今後の生活で自然環境を守りたいと考えています。



9月6日卒業式（介護・福祉学科6期）



●第11回おきがる環境講座「レッツ・エコデビュー!!」



●日 時：11月18日、25日、12月2日いずれも金曜日 18:30～20:00 開催の3回連続講座

●会 場：タワーホール船堀3階 301会議室

●対 象：18歳以上の一般の方 ●参加費：300円

●内 容：エコ活動に一歩踏み出すきっかけづくりを「わいわい」と参加体験しながら学習。環境問題への「思い」を実現させてみたい、参加者同士の仲間や場づくりの輪を広げたいという方も大歓迎。修了後はリーダーとしてエコセンターで様々な活動の場を提供できます。人生大学卒業生も多数活躍中です！

●講 師：えどがわエコセンター会員

●申 込：電話、ファクスで、講座名（＝レッツ・エコデビュー）、氏名、住所、電話番号をお伝えください。

※「おきがる環境講座」の詳細はエコセンターにお問い合わせください。(電話：5659-1651 FAX：5659-1677)

